

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 6 日作成)

|                              |  |                               |                               |
|------------------------------|--|-------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名                        | 学校施設の音環境保全規準解説刊行小委員会   |                               | 主 査 名：福地智子<br>就任年月：2005 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 環境工学委員会<br>(企画刊行運営委員会)   |                               | 委員長名：加藤 信介<br>主 査 名：吉野 博      |
| 設 置 期 間                      | 2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月  |                               |                               |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設音環境保全規準・同解説刊行</li> <li>・上記刊行物の講習会</li> </ul> |                               |                               |
| 委員構成<br>(委員名(所属))            | 委員公募の有無：無  |                               |                               |
|                              | 福地 智子(永田音響設計) 上野 佳奈子(東京大学) 井上 諭(東急建設) 佐久間 哲哉(東京大学) 土屋 裕造(戸田建設) 矢入 幹記(鹿島建設) 渡辺 充敏(大林組)    |                               |                               |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           |  |                               |                               |
| 2006 年度予算                    | 200,000 円  | ホームページ公開の有無：無<br>委員会 HP アドレス： |                               |

| 項 目                                | 自己評価  |
|------------------------------------|---|
| 委員会開催数                             | 6 回(年度内計画を含む)   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は<br>除く)          | 1. 学校施設音環境保全規準・同解説(2007 年度夏頃)   |
| 講習会                                | 1. 「学校施設音環境保全規準・同解説」講習会(2007 年度夏頃開催予定)<br>参加者数 名  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)      |   |
| 大会研究集会                             |   |
| 対外的意見表明・パ<br>ブリックコメント等             | 1. 学校施設音環境保全規準・同解説(案)   |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得ら<br>れた成果との関係) | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2006 年度刊行の予定であったが、現段階は音環境運営委員会に原稿の査読を依頼している状況である。</li> <li>2. 2007 年夏には刊行予定。</li> </ul> |
| 委員会活動の問題点<br>・課題                   | 1. 規準作成に、解説文を考慮していなかったため、解説文の執筆に時間を要した。   |

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

\* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

\* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

## 2006 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

| 総合評価<br>(4段階評価)                 | A      B      C      D   |
|---------------------------------|--|
| 総合評価に関する<br>自由記述欄<br>(理由、特記事項等) | <p>今年度刊行の予定であったが、半年程度遅れる予定である。<br/>                     1 昨年、規準まで作成し、パブコメの段階まで進んだが、その後解説文も込みでの発行ということで、解説文の執筆を行ってきた。しかし、書き方や内容についてのやりとりに時間を要し、予定より遅れることになった。<br/>                     しかし、現時点で原稿の推敲もかなり進んでいるので、今夏の刊行は可能と考えている。</p> |

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。